

蘭越町総務課坂野との面談記録

面談日：2024(R6)年3月26日

面談場所：蘭越町役場2階

[野村]

あなた方のやってる調整懇談会は、他の都府県の・・・

[金町長]

静かにしなさい。

[野村]

条例で、定義付けられてないんですよ。

[金町長]

だってそれは、いや、それはないんですよって・・・町政懇談会を・・・条例って  
いうのは・・・どう・・・

[野村]

町政懇談会が、町民の意見を聞くために定められているものなのか。ただ単に、町  
民の要望によって行われているものなのか、それとも町からの、意見を、広く伝える  
ためのものなのかを、きちんと定義して定義してある自治体と、してない自治体  
の2通りに分かれてるんです。蘭越町は、それをきちんと定義付けてないんです。

この前、聞いたのは、あくまでも、各地域からの要望によって、行われていると。

もし、そうであれば、あなたが町政懇談会で、意見が出なかったから、チオセヌブ  
リ（スキー場）を廃止していいことに、これは前の町長の話だ。

町長も副町長も、「調整懇談会で意見があったから」「出なかったから」、だから、  
「それを町民の意見として受けとめた」ということを、頻繁に使ってるけども、そ  
れは根拠がない。あくまでも町民からの意見があって、「道路を作ってくれ」「水  
路を直してくれ」と、それに応じてやってるものだから、それに行けなかった方が、  
それをもって、調整懇談会で意見があったから、なかったからっていうのは、おか  
しい。使わないで、今後。

[金町長]

だから、それはあなたの言い分でしょう？

[野村]

あなたの言い分じゃなくて、法律上ね・・・

[金町長]

少し静かに・・・

[金町長]

法律に基づいて言いましょうよ。それをあなたが言うんだったら、法律でちゃんと、

[金町長]

ちょっと、町民に、みんながいるわけだから、もう少し静かにお話をしてくれませんか。

[野村]

あなた方が紳士的な話をするんだったら、僕のトーンは、高くはならない。法律に基づいて、紳士的な話を。あなたが理由もなく、「思い込みだ」とか、言うから、僕の・・・

[金町長]

静かにしなさい。

[野村]

「思い込みだ」とか言ったでしょう。みんなの前で。「思い込みだけ」だと。

[金町長]

あんまり迷惑かけるんなら、あなたはやっぱり、ここから出てってもらいますよ。

[野村]

正式に手配すればいいよ。

[金町長]

したら、警察に電話して。みんなに迷惑かけて・・・やってくださいっていうことを・・・

[野村]

僕は、理由のある話をしてるから、それが、通常を受忍限度を超えるものとは思わない。逆に、あなたが・・・

[金町長]

みなさん・・・

[野村]

いや、これは、僕は、普通のトーンで話してるつもり。努力をして、抑えて、じゃあ一緒に話しましょうよ。

[金町長]

だから、もうちょっと静かに・・・

[野村]

個室に行きましょうよ。この件については。

[金町長]

どうして、行かなきゃダメ。

[金町長]

だから、あなたが、何ヶ月前に頼んでることを、無視して、何も答えないの。僕は、聞いたでしょう？

[小山内]

私の方から、幾度となく、ご連絡させていただいて、野村さんの方から・・・

[野村]

幾度となく、連絡させていただいて？

[小山内]

ご連絡は携帯に・・・

[小山内]

小山内さんから電話もらったことないよ。ここ何ヶ月間も。